

1. 麻疹疑いの患者さんとの別動線の確保

2/4（火）～2/9（火）に来院された患者さんについては、お問い合わせがあった場合は、事前に連絡をいただいた上で、陰圧室への誘導および入口が異なる隔離された地下診察室にご案内し、他の患者さんとは全く異なる動線を確保しています。

一般の麻疹疑いの患者さん（発熱、咳、鼻水、発疹などの症状のある患者さん）については、他病院と同様、必ず事前連絡をいただいた上で指示に従っていただき、ご来院いただく際には建物外の指定場所でお待ちいただくことにしています。

2. 産婦人科・小児科の患者さんへの対応

入口に患者さんの誘導員を多く配置し、入口エスカレーターより直接上がっていただき、他の患者さん（エレベーター・階段使用）と区別した動線としています。

3. 当院職員および委託業者職員の感染の阻止

当院職員及び委託業者職員（但し、過去麻疹にかかった人と妊婦を除く）に関しましては、麻しんに対する高い抗体価を全員が確保するため、ワクチンを追加投与済です。

※ 過去にワクチン接種済でもブースター効果を目的とする投与を実施

現在、外来診察に来られた1人の患者さんから直接に集団感染した9人の感染者に留まっており、以降の感染は認められておりません。ただ、依然として潜伏期間である可能性もあり、感染管理のレベルを上げるとともに、経過を見守っております。